

「がん及び周辺疾患の社会格差の解明：生活習慣や免疫応答の媒介」に対するご協力のお願い

研究責任者 獨協医科大学医学部 公衆衛生学講座 准教授 財津 将嘉
研究分担者 獨協医科大学医学部 公衆衛生学講座 教授 小橋 元

このたび当研究室では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんや地域の健康な皆さま等の診療情報などを用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる皆さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、研究責任者または分担者までご連絡をお願いします。

1. 研究の目的 及び 意義

本研究室では、東京大学、関東労災病院、ハーバード公衆衛生大学院との共同で「がん及び周辺疾患の社会格差の解明：生活習慣や免疫応答の媒介」という研究を行っております。現在、世界レベルで推進されている国連の持続可能な開発目標である「予防と治療を通じて非感染性疾患による早期死亡を3分の1に減らし、精神健康と幸福を促進する」があります。この対策の一環として、本研究室は、がんおよびその他の周辺疾患（例えば循環器疾患や周産期の合併症など）のリスクの根源にある社会格差が、分子細胞および日常生活レベルでどのように影響しているのかを明らかにし、非感染性疾患対策の推進や治療成績の向上を目的としております。

2. 研究の方法

1)研究対象者

調査対象は昭和45年より現在までに神奈川県がん登録に登録されている患者さん約20万人と、関東労災病院および久保田生命科学研究所に登録されている患者さん約1万人を研究対象とします。

2)研究実施期間

2020年6月倫理委員会承認後 ～ 2025年3月31日

3)研究方法

上記1)の研究対象者について、研究者が情報に基づいてがん及び周辺疾患の罹患・死亡リスク、社会背景、生活習慣や行動様式、臨床検査および免疫応答等の分子細胞レベルの要因に関する分析を行い、がん及び周辺疾患の社会格差の仕組みについて調べます。

4)使用する試料・情報

研究に使用する試料・情報として、匿名化された電子データおよび病理組織等検体を使用いたします。

・年齢、性別、家族歴、既往歴、診察所見、社会経済学的指標（教育、職業、収入、居住地など）、喫煙（受動喫煙や新型タバコ等）・飲酒・運動などの生活習慣・行動様式、採血・生理検査・病理検査等などの臨床および分子免疫検査データ、公開されている政府統計やオープンデータ

3. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

4. 研究組織

関東労災病院 武内 巧

東京大学 小林 廉毅

ハーバード公衆衛生大学院 Ichiro Kawachi

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

照会先:

獨協医科大学医学部 公衆衛生学講座

研究責任者:財津 將嘉

電話:0282-87-2133(平日:9時00分～17時00分)

研究代表者:

獨協医科大学医学部公衆衛生学講座 財津 將嘉

以上